

午前9:00～午前12:00
(初診9:00～11:30)午後2:30～午後6:30
(初診2:30～6:00)

日	月	火	水	木	金	土
☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺
☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺

2011年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1 休診	2 全日	3 全日	4 休診
5 全日	6 全日	7 全日	8 休診	9 全日	10 全日	11 休診
12 全日	13 全日	14 全日	15 休診	16 全日	17 全日	18 休診
19 全日	20 全日	21 全日	22 休診	23 全日	24 全日	25 休診
26 全日	27 全日	28 全日	29 休診	30 全日		

2011年7月

日	月	火	水	木	金	土
					1 全日	2 休診
3 全日	4 全日	5 全日	6 休診	7 全日	8 全日	9 休診
10 全日	11 全日	12 全日	13 休診	14 全日	15 全日	16 休診
17 全日	18 休診	19 全日	20 休診	21 全日	22 全日	23 休診
24 全日	25 全日	26 全日	27 休診	28 全日	29 全日	30 休診
31 全日						

★18日は祝日の為休診となります

当院サイトにも情報を掲載しています。
どうぞご利用ください。

http://www.azusawaseikei.com

あずさわせいけい ひとつこむ

〒174-0051
東京都板橋区小豆沢2丁目36-13
マルエツクリニックビル5F・6F

TEL: 03-5916-4970 FAX: 03-5916-4977

あずさわ通信 第31号 [2011.06.01発行]

あずさわ 医療と癒しの融合

発行元: 小豆沢整形外科

津波や原発よりも危険
暗黒法案から日本を守ろう!!

民主党の「人権侵害救済プロジェクトチーム」なる組織が、「人権侵害擁護法案」(= 人権擁護法案) という名の法案を、震災後のどさくさに紛れ、今国会で通そうと画策しています。

その言葉の響きからは、いかにも人権が守られるような耳あたり良い名称ですが、実態はあまりにも危険な「恐怖の悪法」なのです。今まで政治にあまり関心のなかった方も、今回だけはこのことを是非知って下さい。

今、私たちの日本には他の先進国に負けないくらいの言論の自由があります。人の生命、健康、財産、権利などを明らかに侵さない限り、発言や出版の自由は保障されています。

ところがこの悪法が通ってしまうと、恐ろしい言論弾圧社会が出現します。



警察より強い権限

例えば、あなたが上司だとして、何度も失敗した部下に「何回注意したらわかるんだ?」などと叱った場面で、その部下があなたのことを逆恨みし「差別された」「人権侵害された」と「人権委員」に報告すると…あなたは人権委員会から裁判所の令状なしで、いきなり自宅や職場に立ち入り検査をされ、日記やPCなどを押収されてしまうのです。そしてこれを拒否すると、即座に30万円までの罰金刑を科せられてしまいます。(警察でもそこまでしません)

※「人権委員」とは、本法案が可決されると設置される組織で、全国に2万人配置される予定。委員には外国人や過激な思想団体員でもなることができる。

人権委員どもの追及は更に続きます。立ち入り検査の後も何度も出頭要請があり、拒否する度に罰金が科せられ、出頭すれば長時間にわたって犯罪者扱いで追及され、差別発言を容認してしまうと、

「〇〇氏は、不当な差別を行い人権侵害を行った」と自分の本名が公表され、「悪人」のレッテルを貼られ、社会的に抹殺されてしまうのです。

何気ない日常会話でも摘発？

職場での発言には限りません。友人、恋人、夫婦の間の何気ない会話であっても、相手があなたの言動に対して「不快だ!」「気に入らねえ」「自分では言い返せないが、何とか相手を苦しめてやる」と思って、弾圧機関「人権委員」に報告さえすれば、あとは彼らがあなたを狩りにやってきます。



講演や出版でさえも、自由は奪われます。例えば、北朝鮮に拉致された被害者を救おう、と街頭演説している人が居れば、人権委員が飛んできて、「あなたの発言は在日朝鮮人の人々の人権を侵害する疑いがありますので、取り調べます。ちょっと一緒に来て下さい。」と言われ連行されます。逆に「拉致は人権侵害ではないのか!？」と叫びたいですね。まさに言論弾圧、言葉の揚げ足取りです。

あなたも他人事ではありません!

それだけではありません。本法律は、インターネット、漫画、アニメ、小説、音楽なども規制対象になります。成立すると、政府にとって気に入らないメッセージを含んでいれば、これらの媒体廃刊や削除、回収に追い込まれます。



外国人犯罪組織を告発しようとする、「外国人差別だ」と言えば、告発人は人権委員に抹殺されるので、悪い外国人に日本人の権利がどんどん奪われていく可能性があります。

これと同じような社会崩壊が現在のスウェーデンで実際に進行中です。善良なスウェーデン国民が支払う高い税金が外国人移民犯罪者やテロリストを養っています。

こんな信じられないような恐怖社会が、嘘ではなく、今私たちの目前に迫っているのです。

震災や原発、停電などで人々の関心がそれている間に、裏でコソコソこの悪法を通そうとしている政治家や団体がいます。それは誰か？今直ぐ、『人権擁護法案』『人権侵害救済法案』でネット検索してみてください。

あるいは、こちらにアクセスしてみてください。

⇒<http://www.nicovideo.jp/watch/sm14178380>

そして、この事実をあなたの大事な人たちに教えてあげてください。

なぜ報道されない!?

テレビや大新聞などの大手マスコミはこのことを全く報道しません。以下の理由があるからです。

大手マスコミは「人権侵害救済法案」の規制対象外であり、インターネットに顧客を奪われつつある大手マスコミは本法案によってネット情報が潰されることを期待しているのです。



インターネットの情報が法的に遮断されれば、政府は大手マスコミを通じて、国民を簡単に情報統制できるようになるし、マスコミもネットから客を取り戻せるという目論見です。

健康も医療も、安心・安全な社会が無ければ享受できません。今、日本は国家としての健康が蝕まれつつあります。私たちは無関心と無責任を捨て、健全な危機感を持って国治しに立ち上がるべきではないでしょうか？

私たち小豆沢整形外科は、人々の健康と国の健全な発展を願っています。

